



いちやい場通信



NO.77 December, 2019

災害時外国人支援サポーター養成講座@宮古島で開催



島嶼県沖縄の地域防災力を高め、大規模災害時に要配慮者となりうる外国人を支援する人材を育成するため、11月12日（火）～14日（木）の3日間、宮古島市で「災害時外国人支援サポーター養成講座」を実施し、17名が修了登録しました。講座では災害時外国人支援のポイントなどを確認した他、阪神淡路大震災をきっかけに注目されるようになった「やさしい日本語」を実際に作ってみる講座なども行いました。「やさしい日本語」とは、普段我々が使っている日本語をより外国人にとってわかりやすく言い換えることで、情報の理解を促したり避難行動につなげることができなど、災害時に役立つものとして広く活用されています。

最終日に実施した避難所机上訓練（HUG）では、講座で学んだことなどを確認しながら、外国人のみならず、赤ちゃん連れや足腰の弱いご老人など様々な状況に置かれた避難者への対応方法や、様々なイベントにグループで対処しました。

今回の講座を通じて、登録者は166名（本島：116名 石垣島：33名 宮古島：17名）となりました。今後も引き続き講座を実施し、島嶼県沖縄の地域防災力の向上に努めて参りたいと思います。



公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団

Okinawa International Exchange & Human Resources Development Foundation

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16

TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220 HP: <https://kokusai.oihf.or.jp>



避難所運営訓練と多言語支援センター開設訓練を実施

災害時は行政職員等も被災者になる状況の中、「公助」は期待できないことを知り、島嶼地域ならではの「自助と共助」について考えることを目的に、「避難所運営訓練・災害時避難所体験会（共催：沖縄市）」を11月5日の「津波防災の日」に沖縄市農民研修センター（沖縄市登川2380）で開催しました。また、大規模災害時に財団が開設する「災害時多言語支援センター」開設・運営訓練も同時に実施し、地域住民や災害時外国人支援サポーターなど約100名が参加しました。

訓練では、館内から流れてくるニュースを多言語化したり、ダンボールベッドの設置、炊き出しやセンターに来所する人々の受付に対応しました。訓練を通して「特定非常災害特別措置法」や「災害救助法」に適應できるケースに気づくことができるかどうかや、地震、津波、ライフラインの被害状況など、交通情報とあわせて自主的に多言語化、発信できるかなど、各シナリオにチェック項目を設け、多言語支援センターに随時付与しその対応方法を確認しました。

訓練の講評と振り返り会は、（一財）熊本市国際交流振興事業団の勝谷事務局次長に務めていただき、多くの課題が挙げられました。「情報の掲示方法について発信時間を付けることによりいつ時点の情報なのか明確にする必要がある」や「多言語化のプロセスにおいて、情報を足したり引いたりして外国人被災者が避難行動を行うようにする必要がある」、「翻訳対応できない言語への対応方法などについてどうすればよいのか」などについて検討しました。また避難所の受付に関して、「外国人被災者の個人情報に関する取り扱いには（サポーターとして）難しさを感じる」などの意見も寄せられました。

「災害時多言語支援センター」のよりよい運営に受けて、今回の課題への対応策を検討し今後を活かしていきたいと考えております。平日にも関わらず多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。



避難所訓練でのサポーターの様子



訓練後の振り返り

ダイバーシティシンポジウムin沖縄2019を開催

今後増えゆく「生活者としての外国人」との共生に向けて、今後直面することが予想される課題等への対応策について考える機会を持つことを目的に去る10月30日（水）に「ダイバーシティシンポジウムin沖縄2019」を開催し、行政職員や日本語学校の関係者など60名が参加しました。

（一財）ダイバーシティ研究所代表理事の田村太郎氏による基調講演では、「これまでの多文化共生施策と今後の展望」をテーマに、日本での外国人受入れや多文化共生が推進される経緯や、展望として「地域の未来のための多文化共生」へ視点をスイッチしていくことの重要性が語られました。

引き続き実施されたパネルディスカッションには、沖縄合同法律事務所の弁護士で在住外国人という立場を持つ白充氏と沖縄科学技術大学院大学副学長で外資企業の現地責任者として海外赴任歴を持つ永瀬智氏に加わっていただき、「地域で考える「生活者としての外国人」-共生社会の第一歩-」をテーマにお話いただきました。

今回実施したシンポジウムを継続して実施することで、県民の多様性（ダイバーシティ）に対する理解を深めていきたいと考えております。



災害時外国人の支援を



行旅、観光事業従事者20人近くが災害時外国人支援の共通協議会を持った一軒敷く女性の家

講座開きサポーター養成

沖縄県内交流 増える在住者、観光客に対応

県内交流・人材育成財団が主催する「災害時外国人支援の共通協議会」が、11月13日(水)午後2時から、宮古市平野町南東町3-1の宮古新報社で開かれた。約20人が参加し、災害時外国人支援の重要性や、在住外国人の増加、観光客の増加などについて話し合った。

外国人との共生目指して



課題解決へ那覇でシンポ

在日コリアンら経験交え

日本在留外国人の増加に伴って、災害時の課題も増えている。県内交流・人材育成財団が主催する「災害時外国人支援の共通協議会」が、11月13日(水)午後2時から、那覇市でシンポジウムを開いた。在日コリアンら経験交え、課題解決に向けた話し合いを行った。

シンポジウムには、在日コリアン支援センターの代表者や、県内交流・人材育成財団の代表者らが参加した。在日コリアンら経験交え、課題解決に向けた話し合いを行った。

提供：沖繩タイムス社

きょうの天気

週間天気	14(晴)	40
	15(晴)	40
	16(晴)	30
	17(晴)	20
	18(晴)	30
	19(晴)	30

気圧 27℃ 湿度 21%

降水確率 10%

あすの天気 10月17日 17日 18日

提供：宮古新報



災害時に外国人支援

サポーター養成講座が開講

県内交流・人材育成財団が12日、市町(女性の家(ゆいなか))で2019年度災害時外国人支援サポーター養成講座を開いた。講座では災害時に外国人を支援し行政や地域住民との連携を担うサポーターを養成し、県内の防災、減災と多文化共生社会の推進を図ることを目指す。県内各地で開いた。県庁市庁舎で行政関係者や市民ら15人が受講した。講座は14日までの日程で、災害時に「テマ」と向き合うことや災害時に役立つ「日本語」を「避難所運営」などについて学ぶ。

最初の講義は同財団国際交流課の藤行幸氏が「サポーター養成講座」の意義や、災害発生時の外国人支援の課題について述べた。講座では災害時の外国人支援に関する防災協定の締結について解説した。その後、日本で発生した外国人の犠牲者に関する事例を基に、災害時の外国人支援の重要性を説いた。受講者は「台風が近づくと食料品を買いだめする。外国人は、各買いたすのがわかる」と思った。受講者からは「教えてほしい」という声も上がった。

提供：宮古毎日新聞社

新聞で取り上げられた記事を紹介します!

「大規模災害時における外国人支援のための連携協定」を締結しました

財団では、国籍や民族に関係なく誰もが安全・安心して暮らすことができる多文化共生社会のまちづくりの実現を目指しているところ。一方、大規模災害時を想定して、これまでに沖縄県やJICA沖縄、宜野湾市など様々な関係機関との連携を強化しておりますが、在住外国人の「生活再建」や外国人観光客の「帰国支援」を行うための体制は途上の状態となっております。

このような状況を改善するため、災害時における外国人支援をより効率的かつ効果的に行うことを目的に、11月15日(金)に法務省福岡出入国在留管理局那覇支局(以下「入管」という。)と「大規模災害時における外国人支援のための連携協定」を締結することとなりました。

協定締結により、平時から相互の共同体制の構築に務め、初期対応の迅速化を図る他、大規模災害時に財団が運営する「災害時多言語支援センター」に寄せられる情報をもとに、財団で被災した外国人のニーズを確認し、必要に応じて入管と情報を共有することで、効率的な対応を図ります。



協定の概説

ウチナンチュ子弟等留学生受入れ事業 文化体験研修を行いました！

11月15日（金）に本県の地域住民の生活や伝統的な文化について知り、体験し地域住民の方々と交流することを目的としている文化研修を行いました。この研修では、那覇市で行われている、ガイドの説明を聞きながら平和通り商店街を歩いて回る「那覇の市場（マチグワー）迷宮めぐり」に2つのグループに分かれて参加しました。ガイドの方は説明の際に商店街の戦後の写真を見せてくれたので、留学生達も当時の様子をイメージしやすかったように思います。案内してもらった商店街は「スーヅグワー」と呼ばれる狭い小道が入り組んでいて、まさに迷宮に迷い込んだようでした。

「まちまーい」の後は伝統工芸館にて小さなトートバックに専用の筆で色を染める「紅型体験」を行いました。紅型の色のグラデーションにはルールがあり、少し難しい様子でしたが、留学生は皆、色彩豊かな作品を作っていました。この研修も紅型のように彼らの記憶に色鮮やかに残ってほしいと願います。



外国語絵本読み聞かせ教室

♪ 下半期は下記の日程で全4回外国語絵本読み聞かせ教室を行いました♪

10月27日（日）沖縄市立図書館 読み聞かせ言語：英語

今年度第4回目の読み聞かせ教室はアメリカ・ルイジアナ州出身のマイケル・クーパーさんに毎回リクエストのある「はらぺこあおむし」と「ようせいアリス」、そして日本語訳はありませんでしたが「The Monster Who Ate Darkness」というお話を英語と日本語にその場で訳して読み聞かせをして頂きました。目をキラキラさせて話に聞き入っている子供達の姿が印象的でした。



11月10日（日）沖縄市立図書館 読み聞かせ言語：中国語

第5回目の読み聞かせ教室は7月にも読み聞かせをして頂いた張夢雅さんに中国語で「はらぺこあおむし」と「100万回生きたねこ」を読んで頂きました。絵本の読み聞かせ以外にも中国では片手で数を10まで数えられるということを夢雅さんに教わり、みんなで10まで数を数えたり、中国語の簡単な挨拶を習ったりと、有意義な時間を過ごすことができました。



11月24日（日）北谷町立図書館 読み聞かせ言語：スペイン語

第6回目の読み聞かせ教室はペルー出身のランジ・マベルさんと北谷町立図書館で読み聞かせ教室を開催しました。今回読んだ絵本はどちらも開催前にリクエストのあった「はらぺこあおむし」と「おおきな木」をスペイン語でマベルさんに読んで頂きました。「おおきな木」の内容は参加している子供達の中には少し難しいと感じる子がいるかもしれないという不安がありました。読み終わった後に感想を聞いてみると、子供達が内容をよく理解していることが分かりました。これからもリクエストのあった本なども取り入れ、読み聞かせを行っていきたいと思います。



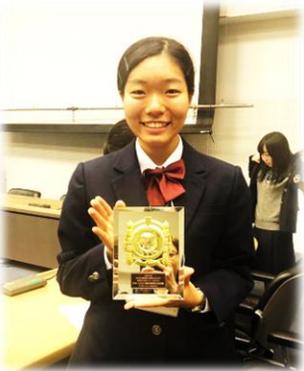
12月1日（日）北谷町立図書館 読み聞かせ言語：英語

今年度最後の読み聞かせ教室はアメリカ出身のジェイソン・サーモンズさんに北谷町立図書館で「はらぺこあおむし」とクリスマスに空を飛ばないペンギンがサンタクロースに空を飛べるようお願いをするといった内容の「だれにだってゆめがある」という絵本を英語でよんで頂きました。「だれにだってゆめがある」という絵本は少し長い絵本だったので、子供達が退屈してしまわないか心配でしたが、みんな最後まで真剣に聞いてくれました。絵本には素敵な魅力があるようです。来年度も色々な言語で読み聞かせを行っていきたいと思います。

国際理解・国際協力のための

高校生の主張コンクール 沖縄県地方代表作品

沖縄県の代表が国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール中央大会で優秀賞を受賞しました！おめでとうございます！



優秀賞（日本ユネスコ国内委員会会長賞）
受賞作品

【日本における持続可能な開発目標（SDGs）
の達成に向けて、私たちが国連とできること。
-目標8「働きがいも経済成長も」を中心に-】

沖縄県立 開邦高等学校 3年 鈴木 礼

ほぼ毎日、私はコンビニエンスストアで外国人の店員に会計をしてもらいます。彼らが一生懸命働く姿に、いつも心を動かされます。

日本では、改正入管法が施行され、外国人留学生と外国人技能実習生の大多数が正当に「労働者」となりました。これを受けて、外国人労働者数はこれからも増加していくでしょう。ここで私が提起することは、「平等性と助け合い」がSDGs、特に目標8「働きがいも経済成長も」の達成のカギであるということです。

私は高校二年生の時、南米チリに一年間留学しました。現地人の世間話は想像以上に、外国人労働者のことでもちきりでした。その「外国」とは、ベネズエラやドミニカ共和国、ハイチなどが大半を占めます。チリ人の彼らに対する考えは明確で、「迷惑だ」と考えているのです。実際、肉体労働や清掃業、さらに小売業までもが外国人労働者の仕事です。チリ人が仕事を外国人に取られているこの現状は、客観的に見ても苦しい現実でした。

一度、チリでベネズエラの男性二人組の引っ越しを手伝う機会がありました。ホストマザーが彼らと教会で知り合い、手厚く援助していました。彼らの新居はお世辞にも良いとは言えない、小さな倉庫でした。また、教会員の身内で集めたマットレスや毛布も、寒いチリの冬を超えるのが困難だと思えるほど、古く薄かったのです。しかし、作業を終えるとベネズエラ人の彼らが、新しい部屋を見回して、「なんて素敵なんだ、ありがとう。」と喜んでいた姿を今でも鮮明に思い出します。私はこの時、心が痛い反面、このような最低限度以下の生活を強いられている人が世界中にまだ沢山いる今だからこそ、助け合いが何よりも重要なのだ、と実感しました。

また、留学中に、チリで通っていた中高一貫校で、日常生活についてのアンケートを取りました。そこには、外国人に仕事を奪われることに対する不安の声がありました。チリの若者が平等な雇用機会を求めていることは確かなのです。したがって、世界中の人々が共生していくためには、「助け合い」だけではなく、「平等性」も不可欠であると考えます。

先ほども述べたように、日本では改正入管法が施行されました。しかし、私はこの法律は未完成であると考えます。このままでは、以前のようにたくさんの企業が法律を悪用して、外国人労働者を不当に就労させることも予想できます。一方で、チリなどでは、労働の国際化が現地人への深刻な影響をもたらしています。私は、この二種類の不平等問題を目の当たりにして、国連だからこそできることがあると気づきました。外国人労働者の人権を守るという意味での「平等性」。そして、現地人の雇用を保証するという意味での「平等性」。この二つの意味の「平等性」を確保するための法律を国際法として定めることです。この国際法は、世界中の労働者の大きな助けとなるはずです。

私は帰国後に、SDGsをより理解するためのあるワークショップに参加する機会を得ました。そこで、カードゲームでSDGsの達成のシミュレーションをしました。なんと私は、そのゲームを他者による平等な扱いと手助けによってクリア出来たのです。その時私は、まさに「平等性と助け合い」がSDGs、特に目標8の達成のカギであることに気づきました。国境を超えた労働に関する国際法。そして、私たちが共に考え、国連を筆頭に行動し続けることで「平等性と助け合い」を実践することができると考えます。

私は、SDGsの認知度を高めるために、ボランティア部として学園祭でSDGsの掲示物を作って呼びかけ、初めて、フードバンクや被災地ベルマーク運動を実施しました。そこで、私は国連とともに歩み始めた実感があります。また、近日は様々なメディアでSDGsが取り上げられ、SDGsに興味を持つ人が増えてきています。「平等性と助け合い」の重要性に気づき、SDGsをさらに広めていきましょう。また、「働きがいも経済成長も」得るために、世界のみんなと助け合って生きて行こうではありませんか



財団主催イベント情報

—多くの皆様のご参加をお待ちしています—

第37回 **外国人による日本語弁論大会**
The 37th Japanese Speech Contest for Foreigners

入場無料
Admission Free

日時
Date and Time
2020年 **2月9日(日)**
Sunday, February 9th, 2020
開場: 12:30 開演: 13:00
Door open Start

場所
Venue
浦添市てだこホール
Urasoe Tedako Hall
大ホール (浦添市仲間1-9-3)
Main Hall 1-9-3 Nakama, Urasoe

主催: (公財)沖縄県国際交流・人材育成財団
Host: Okinawa International Exchange and Human Resource Development Foundation
TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220
HP: <https://kokusai.oihf.or.jp>

幹事: 浦添市・沖縄県・沖縄テレビ放送株式会社
後援: 外務省・一般財団法人リョウゲン国際化推進財団・沖縄県教育委員会・公益財団法人沖縄県文化振興会
協賛: 沖縄県庁・琉球放送・琉球大学国際交流センター
協賛: 沖縄ホテル・リゾート株式会社・オリオンビール株式会社・株式会社沖縄ファミリーマート
日本トランスオーシャン株式会社・建設コンサルタンツ



参加無料

「生活者としての外国人」との共生に向けて

多文化共生セミナー2020

趣旨:
今後増えゆく在住外国人との共生に向けて、受け入れる地域社会やコミュニティはどのようなことができるのか、また課題は何か。法制度の概要説明、司法や外国人相談窓口分野における事例等を通して、多文化共生について考えます。

開催日時: 2020年 **1月28日(火)** 13:00~17:00
開催場所: P's SQUARE (浦添市西原2-4-1)
講師: (公財) 兵庫県国際交流協会
スペイン語相談員 村松 紀子氏 他

参加申請等詳細はHPで!

主催: 公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団
TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220
HP: <https://kokusai.oihf.or.jp> FB: <http://www.facebook.com/oihf60>

外国人による日本語弁論大会弁士募集!
今回で37回目となる日本語弁論大会の発表者を募集します。今回も多くの豪華賞品を準備しています。多くの外国人の皆さんのご応募をお待ちしています。!

- 弁士募集期間: **11月1日(金) ~ 1月9日(木) 17時必着**
- 応募方法: 財団HP内のオンラインフォームから **第37回外国人による日本語弁論大会**について
- 実施日時: **2020年2月9日(日) 13:00~**
- 実施場所: **浦添市てだこホール 大ホール (浦添市仲間1-9-3)**

「生活者としての外国人」との共生にむけて
多文化共生セミナー2020

- 日時: **2020年1月28日(火) 13:00~17:00**
- 場所: **P's SQUARE (浦添市西原2-4-1)**

参加申請等詳細はHPで!



鳥嶼県沖縄の地域防災力を高めよう!
災害危機管理シンポジウム

沖縄 震度7

沿岸部津波で壊滅

もしもの時、あなたはどのようにしますか?

開催趣旨: 激甚災害が全国的に頻発していますが、沖縄も例外ではありません。もし県内で大規模な災害が発生した場合に、我々はどのように乗り切ることができるのか。空港や港が使えない、容易に他県からの応援が得られないとすると、どういったことが起こるのか。本シンポジウムは、基調講演とパネルディスカッションを通して、地域が抱える災害危機管理上の課題を掘り下げ、それぞれの立場で対応策について考える機会を持ち、地域防災力の向上を目指すことを目的とします。

日時: 2020年1月14日(火) 13:00~16:30 (受付12:30~)
場所: 沖縄産業支援センター 中ホール
基調講演 **福和 伸夫** 氏
名古屋大学大学院環境学研究所教授
名古屋大学減災連携研究センター センター長
基調講演の後、有意者によるパネルディスカッションを行います

主催: (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220
HP: <https://kokusai.oihf.or.jp> FB: <http://www.facebook.com/oihf60>

鳥嶼県沖縄の地域防災力を高めよう!
2019年度災害危機管理シンポジウム

基調講演は、前回好評だった「南海トラフ地震研究の権威」である名古屋大学減災連携研究センターの福和伸夫センター長が行う他、北海道を中心にコンビニエンスストア「セイコーマート」を展開し、2018年9月の北海道胆振東部地震においては北海道全域がブラックアウトとなる中、発災当日から道内95%の店舗で営業を継続し、「神対応」と評価された株式会社セコマにもご登壇いただきます。

- 日時: **2020年1月14日(火) 13:00~**
- 場所: **沖縄産業支援センター中ホール**



財団主催日本語教室
日本語の読み・書きの学習
日常生活に必要な日本語の学習

2019年4月～2020年3月
毎週金曜日(週1回)
19:00～21:00

お申込みは財団HP見学予約フォームへ♪



参加無料

ボランティア
募集中



沖縄県内国際交流団体
イベント情報

沖縄県ユネスコ協会

【2019年度「ユネスコ」子どもの集い】

両国共に、小学生(4年生～6年生)参加者募集
高校生ボランティア募集

小学生(4年生～6年生)が対象で、県内の児童生徒と県内在住の外国の児童生徒の交流事業
 みんなで、協力しながらカレーライスをつくり、楽しく食する(野外炊飯)午後からレクリエーションで楽しみながら、「ユネスコ」の理念である世界平和の大切さを学ぶ。高校生のボランティア活動を支援する。

日時：2020年2月16日(日)

開催場所：沖縄県立石川青少年の家
 (うるま市石川3491-2)
参加費600円
 (カレー材料、保険料)

お申込は、FAXかメールで/FAX：098-863-9547 Mail：info@okinawa-unesco.com
 氏名・学校名・年齢・学年・保護者名・連絡先を記入する。

お問い合わせ：沖縄県ユネスコ協会
 〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 県教育委員会生涯学習振興課内(13F)
 Tel：098-866-2746(神村・渡慶次)

ユネスコ子どもの集い

- ◇令和2年2月16日(日)10:00～16:00(受付9:30)
- ◇沖縄県立石川青少年の家 沖縄県うるま市石川3491-2(現地集合、現地解散)
- ◇参加費：1人600円(屋食代及び保険料として)当日徴収
- ◇参加対象：県内の小学生4～6年生(40名)、県内在住外国人の児童生徒(40名)引率者、高校生(ボランティア30名)保護者又は教員、沖縄県ユネスコ協会員



みんなで、楽しくレクリエーション!!
 終わった後は記念撮影ハイポーズ

カレー作り
 やけどに注意!!

高校生ボランティアさんに入れてもらいました。

お勉強も、ちょこっとします。

沖縄県ユネスコ協会
 〒900-8571 那覇市泉崎1-2-2
 沖縄県教育庁生涯学習振興課内
 FAX 098-863-9547
 E-Mail: info@okinawa-unesco.com
 担当：神村、渡慶次





【NEW YEAR祭り2020】 出展団体 募集中！ 飲食品 販売可 条件あり

日時：1月19日（日）10:00～11:30

場所：アイム・ユニバース てだこホール 市民交流室

参加費：会員200円、一般500円、高専大学生300円、中学生以下100円、留学生100円、
ブース出展料 1,000円

多国籍ブースにて「展示、物品販売」、舞台の部、茶道、餅つき体験他、市県内在住外国人やJICA研修員との交流をします。

【あそんでまなぼうキッズ英語】 会員限定

日時：1月25日（土）13:00～16:00

場所：浦添市ハーモニーセンター

参加費：大人300円、子ども700円、乳児100円（保険代） 遊びを通して英語に触れます。

【Easy!語学体験～オリンピックを見据えて】 会員限定

日時：①1月31日（金）②2月7日（金）③2月14日（金）④2月21日（金）

①②④座学 19:30～21:00 ③は交流体験 19:00～20:30

場所：①②④浦添市ハーモニーセンター ③JICA沖縄センター

参加費：大人2,500円 学生2,000円 4回講座

外国人観光客に話しかけられた時、答えられるように場面を想定した内容。

【食で体験 世界の文化～韓国料理編～】 会員限定

日時：2月9日（日）10:00～13:00

場所：浦添市中央公民館 2階 調理室

参加費：会員1300円 一般2000円 学生1500円

世界の料理を通して国際交流をしてみませんか？今まで食べたことのない味に出会えるかもしれません。

【第5回ふれあい講座】 参加費無料！

日時：2月21日（金）19:00～20:30

場所：JICA沖縄センター体育館 <参加費無料>

浦添にあるJICA沖縄国際センターに来ている研修員によるお国紹介や、青年海外協力隊のOBによる活動報告（パネル展示）、各国ブースを設置し、民族踊りの紹介や沖縄の踊りの紹介をし、お互いの文化交流を図ります。



【コンサート「沖縄とヨーロッパの風を受けて50年」 泉 恵得50年の軌跡】

日時：2020年1月12日 午後2時開演

場所：琉球新報ホール 入場料(前売り) 一般：¥2,500 学生：¥1,500

お問い合わせ：080-2791-3545 泉

泉の音楽活動の50年の軌跡を辿りつつ、沖縄、日本、ヨーロッパの音楽を演奏する。独唱者12人、ピアニスト4人、合唱団7団体の総勢150人で催すコンサート。

外国人のための法律・生活相談

外国人のための法律・生活相談



実施内容

■生活相談

財団内に相談窓口を設け、日本の各種社会制度や生活習慣など、生活するために必要な情報を提供するほか、日常生活を送る上での困りごとや悩みごとや直面している問題についての相談に無料で応じます。

■法律相談

予め生活相談を実施し、法律等の高度な専門知識が必要とされる問題について、沖縄弁護士会と連携の上、必要に応じて対応します。

対象者 原則として県内の在住外国人

対象となる相談内容

■ビザ・在留資格、国際結婚、離婚、賃金、労働問題等生活全般に関すること **守秘義務は遵守します**

相談申し込み方法

■相談希望者は、財団HP (<https://kokusai.oihf.or.jp>) 内のフォームからお申し込み下さい。



お問い合わせ：(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課
TEL: 098-942-9215 HP: <http://kokusai.oihf.or.jp> FB: <http://www.facebook.com/oihf60>

外国人が地域住民として直面する諸問題に関し、日常的に相談できる窓口を開設し、外国人向けに多言語による生活相談を実施するほか、沖縄弁護士会との協働により、在住外国人の生活面や労働面等を専門的に支援するための法律相談会を必要に応じて実施しています。



詳細は財団ホームページにてご覧下さい！
<https://kokusai.oihf.or.jp/>

皆様の支援に感謝！一賛助会員募集一

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団（略称「OIHF」）は、本県の多文化共生社会の推進に寄与し、振興発展を担う人材育成事業や、国際性豊かな活力ある沖縄づくりを目指し、国際交流・協力事業を推進しております。当財団の趣旨や活動に賛同し、活動を支援して下さる、賛助会員を募集しています。沖縄県国際交流・人材育成財団の事業は会員の皆様の支援によって支えられています。皆様のご協力をお願いいたします。

【年会費】 個人：3,000円 団体：10,000円

★お申し込み・お問い合わせは国際交流課まで★

TEL:098-942-9215 FAX:098-942-9220



その他法人賛助会員様： 沖縄ハワイ協会 沖縄ツーリスト 沖縄県商工会連合会
株式会社日本旅行 パシフィックホテル沖縄